

今号のテーマ:『てん菜』

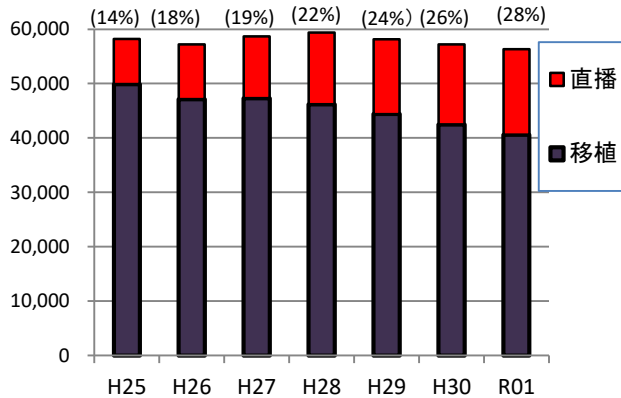
1. 作付面積・戸数の推移について

全道でのん菜の作付面積は減少を続けており、令和元年度は865ha減少し、オホーツク管内においても336ha減少しました。

一方で、直播栽培は増加を続けており、全道では前年比で2%増加しました。

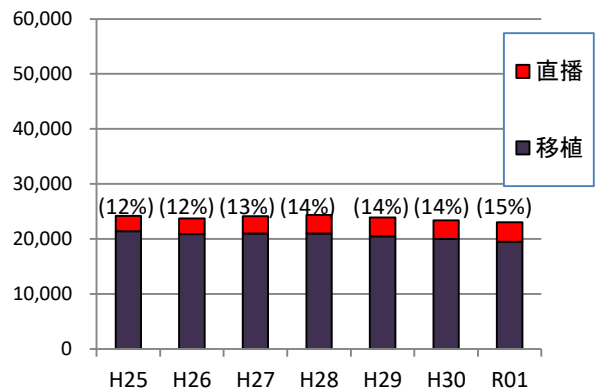
全道ほどではありませんが、オホーツク管内での直播栽培も同様に増加傾向にあります。

作付面積の減少の背景としては、高齢化の進展による戸数の減少、労働力の不足、投下労働時間が多いため敬遠される等が考えられます。また、畑作戸あたりの規模拡大は進んでいます、投下労働時間を要するてん菜は、1戸あたりの作付面積が頭打ちになっています。



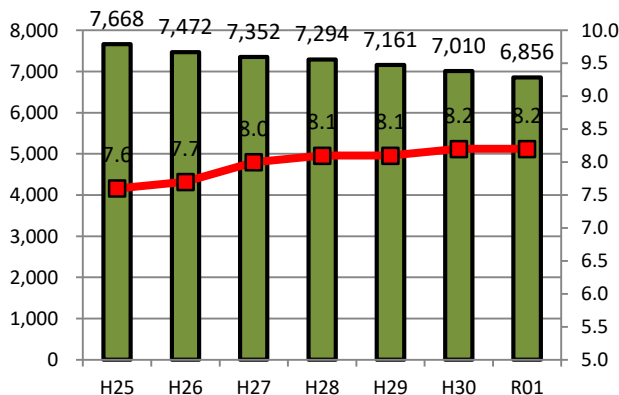
全道でのん菜作付面積推移

※()内は直播割合



オホーツク管内でのん菜作付面積推移

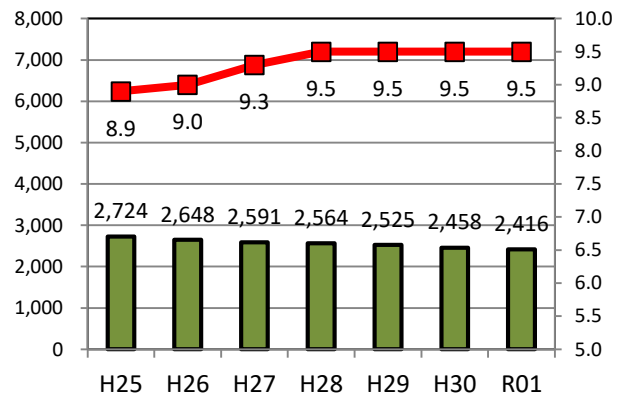
※()内は直播割合



全道でのん菜作付戸数と戸あたり面積

■ 作付戸数

■ 戸面積



オホーツク管内作付戸数と戸あたり面積

■ 作付戸数

■ 戸面積

2. 畑作物の直接支払交付金の数量払交付単価改定について

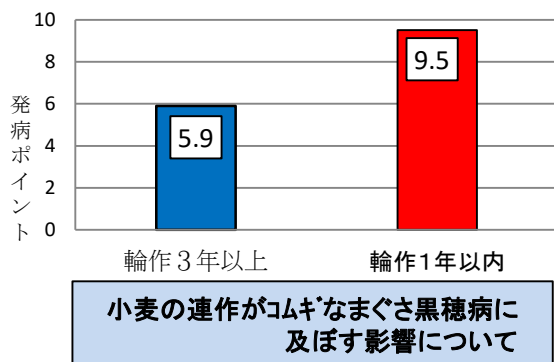
(1) 平均交付単価について

- ア. 畑作物の直接支払交付金単価は令和2年産から改定されます。
- イ. てん菜については、直播栽培の増加等による生産費の減少、販売価格(品代)の上昇を背景に令和元年産の7,450円/tに対し、△610円の6,840円/tと減額になります。
- ウ. また、基準糖度についても、近年の高糖度を背景に、令和元年の16.3%に対し16.6%に引き上げられます。なお、糖度0.1%あたりの差は62円/tで従来とおりです。
- エ. 平均交付単価の減額と併せると、例えば16.6%の場合、令和元年産は7,636円/tでしたが令和2年産からは6,840円/tとなり、実質△796円/tの減額となります。

	令和元年産	令和2年産
平均交付単価	7,450円/t	6,840円/t
基準糖度	16.3%	16.6%
糖度0.1%あたりの差	62円/t	62円/t

(2) てん菜作付の重要性

- ア. 交付単価は減額となりますが、てん菜は北海道の畑作にとって輪作上不可欠なものであり、てん菜の面積が減少することは輪作体系の崩壊に繋がります。
- イ. 輪作体系が崩壊し連作が増加すると、各作物の生産性は低下します。また、病害の多発にも繋がります。(下記)



※H29.1「コムギなまぐさ黒穂病発生要因分析調査結果」
(道農政部)

各作物収量における連作区の4年輪作区対比(42年間平均)

作物	連作/輪作
小麦	67
豆類	80
てん菜	82
馬鈴しょ	91

※H13.1「畑作物の輪作様式が収量の長期変動に及ぼす影響とその要因」(北見農業試験場)

- ウ. 今後も健全な畑作経営を継続していくためには適正な輪作体系を維持することが必要です。また、てん菜については更なるコスト低減と生産性の向上による所得確保を図ることが重要になります。

(3) てん菜生産性向上策の一例 ～排水対策～

てん菜は湿害に弱く、多雨年には圃場の排水性が収量に大きく影響を与えます。排水性向上対策には明暗渠の施工、心土破碎、カットソイラーやカットドレーンなどがありますが、補助事業を有効に活用しながら圃場の排水性向上を図りましょう。

カットソイラーの増収効果

施工区/無施工区	
小麦	110
てん菜	120

※H29高品質てん菜づくり講習会資料より抜粋

カットドレーンの増収効果

施工区/無施工区	
小麦	110
てん菜	112

※H29高品質てん菜づくり講習会資料より抜粋

てん菜 褐斑病の殺菌剤について

DMI 剤耐性菌発生 (平成29.11.6 特殊報)

- 平成13年にDMI剤に対する褐斑病の感受性低下菌の発生が報告され、平成29年に特殊報でDMI剤耐性菌の発生が発表されました。
- カスガマイシン剤についても、同様に耐性菌の発生が確認されています。

➤ DMI剤(混合剤含む)ならびにカスガマイシン剤(混合剤含む)の使用回数を可能な限り低減し、マンゼブ剤および銅剤を基幹薬剤とした防除体系を推奨しておりますが、体系の中でDMI剤を使用する場合はマンゼブ剤との混用を推奨しています。

マンゼブ剤との混合薬剤

(2019年12月現在 てん菜褐斑病適用より抜粋)

品名	作物名	適用病害	希釈倍率	使用水量 (ℓ/10a)	使用時期	使用回数			使用方法
						本剤	各有効成分		
グットクル 水和剤	てん菜	褐斑病	500倍	100 ～ 300	収穫21日 前まで	2回以内	テブコザール	マンゼブ	散布
2回以内							2回以内	5回以内	
どさんこスター 水和剤			125倍	25		4回以内	テブコザール	マンゼブ	

単剤とのコスト比較 (DMI単剤を100%としたときの試算)

品名	規格	倍率	コスト割合	
グットクル・どさんこスター	2kg	500倍	約137%	
グリーンペンコゼブ	2kg	500倍	51%	151%
A 剤 (DMI)	5ℓ	800倍	100%	

マンゼブ剤との混合剤で
コスト低減!
混用の手間も省けます!

～JA北海道信連 北見支所より～

利用無料

農業者の皆さんへ

北農5連JA営農サポート協議会
2020年1月

**税金のこと・労務管理のこと
専門家に相談できます!**

後継者に経営を譲りたいけど、税金の負担が心配・・・



法人化したら社会保険の負担が増えるよね・・・

経営規模を拡大したいけど、法人化した方がメリットがあるのかな・・・

労働者を雇うにはどんな手続きが必要なんだろう・・・

使える補助金とかないかな・・・

《 JAグループ北海道が解決します 》

農業経営コンサルタント事業

- ◆無料でご利用いただけます。※
- ◆北農5連JA営農サポート協議会が当事業で契約する税理士、社会保険労務士に対面で相談できます。
- ◆対面相談のほか、集合型研修会の講師対応も可能です。

※ご利用は無料ですが、JAでは交通費等、当事業に関する費用の一部を負担する場合があります。

詳しくは、お近くのJAにお問い合わせください(運営窓口:JA北海道信連)

●オホーツク畜産GAPセミナーが開催されました

＜オホーツク地域GAP導入推進会議＞

オホーツク地域GAP導入推進会議は、畜産分野におけるGAP（農業生産工程管理）に取り組む意義や具体的な取組について、理解を深めていただくことを目的としたセミナーを開催しました。（11/29、参加者約60名）

セミナーでは、「畜産GAPの現状と取組内容について」、「JGAP家畜・畜産物認証農場の取り組み事例」の講演と、普及センターから「オホーツク管内の畜産農作業事故の現状と対策」について、調査研究として取り組んでいる内容の情報提供があり、参加者の認識の共有が図られました。



●訓子府で女性農業者限定の農作業安全研修会を実施しました

＜ホクレン本所 営農支援推進課＞

営農支援推進課は、ホクレン訓子府実証農場で「女性向け農作業安全研修会」を実施し、オホーツク管内から25名が参加しました。（12/17）

研修会は、女性が参加しやすいように10～15時に実施。「農作業安全」「GAPでみる農場管理」「自動操舵トラクターとガイダンスの仕組み」について、午前は座学、午後は施設見学やトラクター操作の実技を行いました。また、最後に設けた「意見交換ティータイム」では、お茶とお菓子を食べながら4～5名の班ごとに意見交換を実施。女性同士の悩みなどについてお互いにアドバイスし合いました。



★内容に関するお問い合わせやご意見・ご感想につきましては、ホクレン北見支所 営農支援室（担当：林田）まで、メールにてお願いいたします。（アドレス：11einousien@hokuren.jp）

～次号予告～

次号（令和元年度第11号）のテーマは『酪農・畜産』です。乞うご期待下さい！